



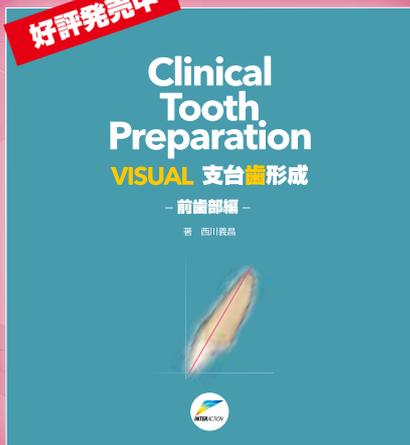
支台歯形成からプロビジョナルまで全三部作

「3面形成理論」だからこそ、ぶれのない・一貫性のある臨床が可能に！

Clinical Tooth Preparation

VISUAL 支台歯形成

好評発売中

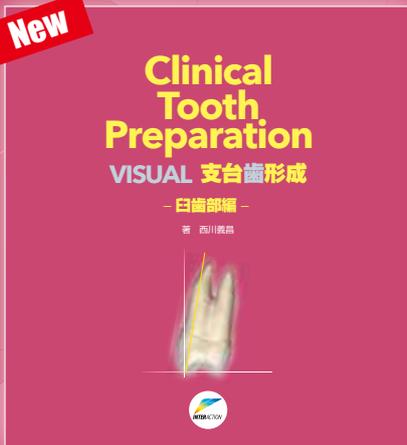


— 前歯部編 —

著：西川義昌

76頁、A4変形 定価：4,968円（税込）

New



— 臼歯部編 —

著：西川義昌

80頁、A4変形 定価：4,968円（税込）

Coming soon!



2019年1月
刊行予定

- ①その理論とテクニックが短文とVISUALで読める!
- ②ベーシックテクニックの習得にも、さらなる技術のブラシアップにも最適。

わかりやすいと大好評!

3面形成理論の特徴と長所はこれだ！

- 天然歯の詳細な観察に基づく明確な形成理論
 - CAD/CAMにも対応できる普遍性のある形成基準
 - 理論にのっとれば、再治療歯にも対応可能
 - 最小限の侵襲で、審美、機能を両立できる形成理論とテクニック

3面理論に基づく支台歯形成

VISUALだから直感的に手技がつかめる！ 手技のポイントをわかりやすくVISUALで提供

Chapter 2 理論編 基準にのっとって削る

①-b 頬側第1面は垂直線に対して30°の角度をつけて形成

図13

上顎2番、3番の第1面

図14a 図14b

基礎知識もコンパクトに解説
支台歯形成に必要な知識を簡潔にまとめました

Chapter 1 歯の解剖学と支台歯形成の基本 まずは「歯」を知る

①-b 歯の外形に類似に形成

歯の外形に類似に形成することで、均等な削除が行え、理想的なクラン形状の回復に最小限の削除で済ませることが出来る。回復すべき歯の外形に類似に形成するため、拡大したスリープレンコンセットの中央基準面、切端基準面を、支台歯形成において参照する。

図9

VISUAL SUMMARY 3面形成の基本

歯の解剖学は、3面形成の基本となる

第1面	頬側第1面	頬側側の形成
第2面	舌側第1面	舌側側の形成
第3面	咬合基準面	咬合線からの角度で形成

Chapter 2 理論編 基準にのっとって削る

③フィニッシュライン部の形成 (歯線部)

臼歯部咬合線部のフィニッシュラインの最小形成深さ(幅)は、頬側側の最小削除深さよりも少ない0.5mm程度でよいとされる。この部を多く削除すると支台歯の構造力学的安定性を損ない、歯肉炎も起こりやすいため。

図11

④フィニッシュライン部の咬合線決定

歯肉線マージンに決定した歯のフィニッシュライン部の歯は、生体学的咬合を考慮して概下0.5mmの咬合線と定める。歯肉のスクラップ除去が十分だと、咬合線部において咬合線がずれれば、フィニッシュラインの歯は斜下し形成されない。

図12

形成の基本技術の習得にも、さらなるブラッシュアップにも最適です

— 前歯部編 —

1 Chapter 歯の解剖学と支台歯形成の基本 まずは「歯」を知る

1. 歯の長軸方向解剖図
 2. 歯の平均的なサイズ
 3. 歯の形態（スリープレーンコンセプト・Three Plane Concept）
 4. 支台歯形成の基本
 - ①-a 歯の長軸（頬舌的傾斜）に平行に形成
 - ①-b 歯の外形に相似に形成
- VISUAL・SUMMARY 3面形成の基本

2 Chapter 理論編 基準にのっとして削る

著者推奨：形成に使うバー
バーのあて方

1. 頬側・舌側軸面は3面形成 上顎1番の例から
 - ①-a 第1面：長軸方向にあてる 25
 - ①-b 頬側第1面は垂直線に対して30°に角度をつけて形成
上顎2番、3番の第1面
長軸方向の重要性 正しい例・誤った例
長軸方向を誤ると 誤った例
 - ②第2面：第1面から20°の角度差であてる
COLUMN 1 ガイディング・グループを入れて均等な削除
上顎2番、3番の第2面
 - ③-a 第3面：垂直線（正中線）から-5°であてる
上顎2番、3番の第3面
COLUMN 2 第3面はなぜ重要？
 - ③-b 舌側面第3面
頬側第3面の重要性 正しい例・誤った例
 - ④舌面：対合歯からの均等な削除
 - ⑤前歯隣接面は2面形成
COLUMN 3 前歯隣接面はなぜ、2面？
 - ⑥切端部：ラウンドエンド形態で3mm以内の削除
 - ⑦ラインアングル：すべてのラインアングルは丸める
2. フィニッシュライン部の形成 58
 - ①フィニッシュライン部の形成（頬舌面）
 - ②フィニッシュライン部の形成（隣接面）
 - ③フィニッシュライン部の位置設定
フィニッシュライン部の形成（隣接面）の重要性
削除が多すぎた例

3. 削除量の最終チェック 65

3 Chapter 実践編 面基準の臨床活用

本書の形成基準の活用例から

— 前歯部編 —

1 Chapter 歯の解剖学と支台歯形成の基本 まずは「歯」を知る

1. 歯の長軸方向解剖図
 2. 歯の平均的なサイズ
 3. 歯の形態（スリープレーンコンセプト・Three Plane Concept）
 4. 支台歯形成の基本
 - ①-a 歯の長軸（頬舌的傾斜）に平行に形成
 - ①-b 歯の外形に相似に形成
- VISUAL・SUMMARY 3面形成の基本

2 Chapter 理論編 基準にのっとして削る

著者推奨：形成に使うバー
バーのあて方

1. 頬側・舌側軸面は3面形成 下顎6番の例から
 - ①-a 第1面：長軸方向にあてる
COLUMN 1 「噛む」主体は5番、6番
VISUAL・SUMMARY 上顎4番、5番、6番の第1面
VISUAL・SUMMARY 下顎4番、5番の第1面
 - ②第2面：第1面から20°の角度差であてる
VISUAL・SUMMARY 上顎4番、5番、6番の第2面
VISUAL・SUMMARY 下顎4番、5番の第2面
COLUMN 2 ガイディング・グループを入れて均等な削除
COLUMN 3 軸面形成とレジンコアについて・4面4偶角
COLUMN 4 下顎4番の舌面形成について
 - ③-a 第3面：第3面：咬頭頂の位置で決定する
 - ③-b 丸みをつけた形成を
 - ③-c 咬頭頂間距離は6mmに
VISUAL・SUMMARY 第3面の臨床例から
第3面の重要性 誤った例 正しい例
軸面の形成に狂いが生じると 誤った例 正しい例
- ④隣接面：1面形成
 - ⑤-a 咬合面：十分な削除量をとる
 - ⑤-b 咬合面：2面形成+窪み形成
 - ⑤-c 咬合面：頬側からの形成
VISUAL・SUMMARY 咬合面形成の臨床
 - ⑥ラインアングル：すべてのラインアングルは丸める
2. フィニッシュライン部の形成
 - ①フィニッシュライン部の形成（頬舌面）
 - ②フィニッシュライン部の形成（隣接面）
 - ③フィニッシュライン部の位置設定
3. 臼歯部特有の形成
 - ①隣接面リテンショングループ
4. 削除量の最終チェック

3 Chapter 実践編 面基準の臨床活用

本書の形成基準の活用例から

注文票

品名	税込価格	冊数
Clinical Tooth Preparation VISUAL支台歯形成—前歯部編—	4,969円	
Clinical Tooth Preparation VISUAL支台歯形成—臼歯部編—	4,969円	



インターアクション株式会社
東京都武蔵野市境南町 2-13-1-202
TEL 070-6563-4151 FAX 042-290-2927
http://interaction.jp